

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸湊川教室

保護者等数(児童数) 21名 回収数 21 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1			・広さは十分だと思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1				十分な配置を心がけております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	1		1		面談時にご案内すし、実際に見ていただく機会をつくる。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18			1		同じテーマのプログラムでも年齢や発達に合わせた支援をしている。同じプログラム内容を複数回経験することで、できる事が増えていけばと考えている。成長に合わせて新しいものこぼんはうすの教室間交流、子ども同士の交流から始めていきたいと思う。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	2	9	・お出かけすることでは、他の子を触れ合えていると思います。 ・パラエティに富んだプログラムだと思います。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				・丁寧な説明だと思います。	契約時にご説明するようになっております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19					日々の送迎時やLINEで困り事や新しく始めている事など、変化があれば連絡を取り合っている。教室での様子がより分かりやすいよう、写真を送るようにしている。送迎時や連絡帳、面談を得て世話をしている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5		5	また機会を増やしていただき、参加したいです。 貴重な機会をありがとうございます。	参加された方には満足していただけた様子だった。今後も継続していきたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	1		2		迅速に日程を調整するようにし、お聞きした内容や困りごとについてお話した後も、引き続き状況を確認するようになっております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18			1	いつも子供の様々な様子を聞かせていただきありがとうございます。	保護者とは日々の送迎時やLINEで連絡を取り合い、共通認識をもつようになっている。文字で伝わりにくい事も多いため、電話や送迎時に会話をとる時間を取るとより良いと考えて
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17			2		活動の目的がわかりやすく伝えるように、内容を変えていきたい。日々のレクやSSTを分かりやすく説明できればと思う。
14 個人情報に十分注意しているか	19					個人情報を含む書類に関しましては鍵付き書庫にて保管し、個人の名前や個人情報がわかるメモも不要になれば必ずシュレッダーで処分	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19					大まかな対応マニュアルはあり、訓練しているものもあるが、もっと頻繁に訓練が必要だと考える。保護者には説明を行っていないので、毎月のお便りで職員が訓練したことや研修内容を伝えていくことも必要かなと考える。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	1		2		定期的に各種避難訓練等、実施しており予定表にも記載するようになっております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	19				・毎回楽しみにしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	19				・いつも感謝しています。ありがとうございます。	他事業所を併用している場合、支援の方法が違うため比較されるが、相乗効果でよりよい成長が見られるよう情報共有できればと思う。

301 16 2 23

88%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら神戸湊川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	レクリエーションに合わせて、空いた部屋も活用するなど配慮を行っております。場合によっては体育館の利用もしております。	お子様の成長とともに、部屋のスペースに関しましては今後も臨機応変に対応できるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切である	3	1	十分な職員数の確保は行えております。	お子様の人数に応じて、十分な療育が行えるよう、余裕を持った配置も検討していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		可能な限りバリアフリー化の配慮が出来るよう努めております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		日々、朝終礼等も含め振り返りは行えるようにしております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		日頃よりいただいたご意見等、業務改善に繋げていけるよう努めております。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		こぼんはうすさくらのHPIにて公開しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		現在社内にて必要に応じて、都度こぼん本部へ相談するようしております。	今後第三者による外部評価も検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		こぼんはうすさくら内の様々な研修を活用し研修の機会を設けております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		アセスメントを適切に行い、定期的なモニタリングも行いながら、保護者様のニーズや課題も客観的な視点を持ち、計画に反映しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		使用しております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		日々意見交換しやすい環境作りを心掛け、定例会議や朝終礼等でも立案・検討する機会を設けております。	より良い支援に繋がる立案・意見交換ができるよう努めてまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		同じテーマのプログラムも年齢や発達に合わせた支援を行っております。	成長に合わせて今後も新しいプログラムも考え、より良い支援に努めてまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		平日・休日・長期休暇に応じた課題設定をし、支援に努めております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別・集団活動は日々考えて行っております。個々の成長に合わせた対応も今後も継続して話し合いの場を設け、努めてまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		定例会議や必要に応じて適宜、話し合いの場を設け、共通認識を持って支援が行えるようにしております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		日頃より終礼にてその日の支援の振り返りは必ず行うようにしており、業務日報や朝終礼ノート等にも記録を残しその後、伝達するようにしております。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日業務日報を作成し、日々支援の検証・改善の話し合いも設けております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		定期的にモニタリングを行い、職員間で意見交換も行いながら見直しを行っております。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4		ガイドラインに則って、組み合わせ支援を行っております。		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		必要に応じて児童発達支援管理責任者と現場職員が参画するよういたします。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		都度迅速に対応しております。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	該当児童無し	受け入れる際は体制を整えてまいります。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			必要に応じて迅速に対応してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	現在該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	現在行っていません。	必要に応じて検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		教室内の状況を見ながら、参加できる際は積極的に参加できるように検討してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や連絡帳、LINEやお電話など様々なツールも使用し必要の際は日々面談の機会も設けながら、共通理解を持てるようにしております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		ご見学・契約時等必ず重要事項・支援の内容・契約内容等丁寧なご説明を心がけております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		日々迅速な対応を心掛けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		毎年スタッフ間で行事を立案し、開催しており参加した保護者様にはご好評いただいております。	今後も継続して行ってまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		迅速に対応するようにしており、お聞きした内容について継続して状況を確認するようにしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		活動概要や行事予定、連絡体制等、必要な情報は電子連絡帳媒体やLINE等を利用してお知らせするようにしております。	
	35	個人情報に十分注意している	4		個人情報に関しましては鍵付き書庫にて保管し、不要になった書類はシュレッダーにて破棄するようにしております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		お子様や保護者様の状況に配慮して、対応できるよう日頃より心掛けております。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		必要に応じて検討してまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	各種マニュアルは教室内・相談室に設置し、いつでも確認出来る環境を整えております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		定期的に避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		社内研修を行い、参加が可能な際は外部の研修にも参加するようにしております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	必要な際は事前に説明し、同意書を頂いた上で、計画にも記載するようにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	現在該当児童無し	必要に応じて、指示書に基づいて対応し、職員間で周知後、対応するようにしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1		